

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		公共用水域保全事業		担当課	市民環境課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
				担当係	環境整備係				活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)						
まちづくりア (基本目標) (個別目標) (施策) (基本目標) (施策)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	補助金交付申請件数	件	90 48	90 46	90 23	74	74	74				
		3	ものを大切に、循環型社会を実現するまち	主な費目	負担金補助及び交付金				イ													
	4	生活排水の適正な処理の推進	対象	合併処理浄化槽へ転換、農集施設へ接続し、家庭からの生活雑排水を適正に処理した者				ア		合併浄化槽への転換件数	件										80 43	80 38
									6		環境にやさしいまちの推進プロジェクト	事業期間	H28 年度～ 年度 ( 年間)		イ	農業集落排水施設の接続数	件	10 5	10 8	10 4	8	8
	(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)		7年度 (計画・予算)							(4) 評価					
	年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円		1,325	1,347	1,852	1,852	1,852	有効性 評価	市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	所管課による評価  この事業が廃止・休止となった場合、合併浄化槽への転換、農業集落排水施設への接続には費用負担の割合が高くなるため、事業推進が図れない。結果として、公共用水域の水質保全の妨げとなる。市内にある個人の専用住宅を対象にしており、偏りはない。									
その他特定財源			千円																			
一般財源		千円	4,080	2,495	773	3,388	3,388	3,388														
事業費計 (A)		千円	4,080	3,820	2,120	5,240	5,240	5,240														
所要人員 (年間)		人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050														
人件費概算 (B)		千円	280	280	280	280	280	280														
(A) + (B)	千円	4,360	4,100	2,400	5,520	5,520	5,520															
(2) 事業概要																						
事業目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。																					
事業内容	汲み取り便槽及び単独浄化槽から合併処理浄化槽へ転換、又は農業集落排水施設へ接続することで、家庭からの生活雑排水を適正に処理した者に対して10万円を限度として補助金を交付する。令和2年度から一部補助金額の見直しを行い、単独浄化槽や汲み取り便槽を撤去した場合に10万円、埋め置く場合は4万円の補助金を交付する。																					
開始経緯	平成19年度から開始した。それまでは、単独浄化槽から合併浄化槽への転換が対象であったが、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換及び農業集落排水施設への接続にも補助の範囲を広げた。枠の拡大により合併浄化槽への転換及び農業集落排水施設への接続率の向上を図る。																					
実施状況	単独処理浄化槽若しくは汲み取り便槽から合併浄化槽への転換又は農業集落排水への接続をすることにより、生活排水の適正処理を行った者の単独処理浄化槽又は汲み取り便槽の撤去費用等について、1件あたり10万円を上限に補助金を交付した。令和2年度から一部補助金額の見直しを行い、単独浄化槽や汲み取り便槽を撤去した場合に10万円、埋め置く場合は4万円の補助金を交付する。																					
成果	(1) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換 12件 (2) 汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換 7件 (3) 農業集落排水への接続 4件 合計 23件										<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td>改善</td> <td>効率化</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>						拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了
拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了																	
課題	農業集落排水処理区域に於いては、計画時の接続率70%を達成できたが、今後もさらに接続率向上に向けた取り組みが必要となる。それ以外の地域については、合併処理浄化槽への転換をさらに推進する。それには人口減少や世帯高齢化、費用負担の問題等もあるが、公共用水域保全の重要性についてさらに周知し、推進していく必要がある。																					
	改革改善案										施工業者等に市民へ汲み取り便槽や単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促すための取組をするよう依頼し、転換を促進する。											

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		浄化槽設置整備事業		担当課	市民環境課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度										
				担当係	環境整備係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)										
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	会計	1	4	2	3	備考	ア	補助金交付申請	件	150 110	150 91	150 82	131	131	131								
		3	ものを大切にし、循環型社会を実現するまち	主な費目	負担金補助及び交付金					イ																	
	(基本目標)	総合戦略	4	生活排水の適正な処理の推進	対象	し尿と生活雑排水を併せて処理する10人槽以下の浄化槽を、専用住宅に設置する者					ア	浄化槽設置数	件	150 110	150 91	150 82	131	131	131								
			6	環境にやさしいまちの推進プロジェクト		事業期間	H28 年度～ 年度 ( 年間)			イ																	
	(施策)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる																								
	(施策)	6	環境にやさしいまちの推進プロジェクト																								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価																		
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円	12,071	18,717	14,401	22,868	22,868	22,868	有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	所管課による評価															
		その他特定財源	千円									効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	河川等、公共用水域の水質汚濁の主な原因は、家庭からの生活排水とされている。し尿と生活雑排水を併せて処理をする合併浄化槽への転換、整備を進めることにより公共用水域の水質を保全することができる。し尿、生活雑排水を浄化槽によって適正に処理する世帯が多くなることにより、公共用水域への負荷が軽減される。													
		一般財源	千円	15,511	4,412	4,689	20,982	20,982	20,982					達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	これ以上の削減の余地はない。											
		事業費計 (A)	千円	27,582	23,129	19,090	43,850	43,850	43,850							改革 改善案	拡大 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了	くみ取り便槽、単独浄化槽から合併浄化槽への転換には多額の費用が必要であり、補助継続する必要がある。									
		所要人員 (年間)	人	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800									課題	施工業者等に市民へ汲み取り便槽や単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促すための取組をするよう依頼し、転換を促進する。								
		人件費概算 (B)	千円	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480																		
	(A) + (B)	千円	32,062	27,609	23,570	48,330	48,330	48,330																			
(2) 事業概要		事業目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。																								
		事業内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、国、県による補助金を活用し、専用住宅に合併浄化槽を設置する者に対し補助金を交付することにより合併処理浄化槽の普及を図る。補助額は、10人槽以下の浄化槽に対し、5人槽332千円、7人槽414千円、10人槽548千円を交付する。また、令和5年度から単独浄化槽や汲取り便槽から合併浄化槽へ転換する際の宅内配管に係る費用について、150千円を上限に交付する。																								
		開始経緯	平成18年4月に「志布志市生活排水処理基本計画」を策定したことによる。農業集落排水事業区域以外について、生活雑排水を合併処理浄化槽で処理することとし、合併処理浄化槽設置者に補助金を交付する。																								
		実施状況	補助金 転換	(1) 5人槽	332,000円	(2) 7人槽	414,000円	(3) 10人槽	548,000円																		
			新築 (市内)	(1) 5人槽	221,000円	(2) 7人槽	276,000円	(3) 10人槽	365,000円																		
			新築 (市外)	(1) 5人槽	110,000円	(2) 7人槽	138,000円	(3) 10人槽	182,000円																		
		成果	設置基数等 (見込み)	(1) 5人槽	77基	17,572,000円	(2) 7人槽	5基	1,518,000円	(3) 10人槽	0基	0円															
		課題	補助金制度により合併処理浄化槽設置数は増加してきている。しかし、狭小敷地への設置問題や設置費用及び維持管理費の負担軽減が、設置数を更に増やしていくうえでの課題である。																								

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		農業集落排水事業		担当課	市民環境課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度																																		
				担当係	環境整備係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																																	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)																																		
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目		1	1	1			ア	収納率	%	92 92	93 93	94 96	95 95	96 96	97 97																															
(個別目標)	計画体系	3	ものを大切に、循環型社会を実現するまち	主な費目	農業集落排水事業費						イ	一般管理費	千円	93,602 109,180	93,500 102,825	93,500 58,208	93,500	93,500	93,500	93,500																														
(施策)	体系	4	生活排水の適正な処理の推進	対象	農業集落排水処理施設区域内の各世帯 農業集落排水処理施設							成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																														
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								ア	収納率	%	92 92	93 93	94 96	95 95	96 96	97 97	97 97																														
(施策)	戦略	6	環境にやさしいまちの推進プロジェクト	事業期間	H7 年度～ 年度 ( 年間)						イ	一般管理費	千円	93,602 109,180	93,500 102,825	93,500 58,208	93,500	93,500	93,500	93,500																														
(1) 総事業費の推移		単位		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価																																						
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価	市民生活の環境衛生や公共用水域の水質保全には欠くことのできない事業であり、市民生活に欠くことのできない施設である。この事業自体は市内の4つの地域しかなく、その経営は一般会計からの繰入金で60%近くを占めており、施設利用ができない住民にとっても負担を強いられるものとなっている。施設利用者からは使用料金を徴収しているが、その不公平感をなくすためにも使用料金の値上げも検討する必要がある。																																							
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円	4,650		9,760	20,932	54,340	70,468								効率性評価	施設の老朽化が進んでおり、修繕や更新にかかる修繕費等の増加が今後見込まれる。令和5年度から公営企業会計へ移行し、複式簿記により資産を含んだ形で経営状況を的確に把握し、中長期的な視点で経営方針を適切に決定することができる。																																
		その他特定財源	千円	34,228	26,487	17,056	210,886	210,000	210,000															達成度評価	計画時の加入率70%は達成したが、施設老朽化に伴う修繕費の増加があり、また、起債償還額が減少するまでは、一般会計からの繰入額に頼る経営状況は変わらない。																									
		一般財源	千円	70,301	76,338	31,392	223,214	225,000	225,000																						改革改善案	国権補助を活用し、対応年数が過ぎている機器設備等の更新を行っていく。公営企業会計の移行により、施設毎の収支を把握し、中長期的な視点で経営方針を決定する。																		
		事業費計 (A)	千円	109,179	102,825	58,208	455,032	489,340	505,468																													成果	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td>改善</td> <td>効率化</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>						拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了
	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了																																												
		所要人員 (年間)	人	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800																																				課題	最も古い野井倉地区が供用開始から24年経過しており、機器設備等の更新を計画的に行っていく必要がある。				
		人件費概算 (B)	千円	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480	4,480	<table border="1"> <tr> <td>主な経費</td> <td>(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)</td> <td>4,116,761円</td> <td>(2) 委託料 (維持管理業務を除く)</td> <td>12,723,946円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 電気代</td> <td>15,793,948円</td> <td>(4) 水道代</td> <td>978,510円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5) 通信運搬費 (電話代)</td> <td>979,582円</td> <td>(6) 工事請負費</td> <td>2,630,000円</td> </tr> </table>	主な経費	(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)	4,116,761円	(2) 委託料 (維持管理業務を除く)	12,723,946円																																			
主な経費	(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)	4,116,761円	(2) 委託料 (維持管理業務を除く)	12,723,946円																																														
	(3) 電気代	15,793,948円	(4) 水道代	978,510円																																														
	(5) 通信運搬費 (電話代)	979,582円	(6) 工事請負費	2,630,000円																																														
	(A) + (B)	千円	113,659	107,305	62,688	459,512	493,820	509,948																																										
(2) 事業概要																																																		
事業目的	農業集落排水処理施設の適正な維持管理を図る。																																																	
事業内容	◎各浄化センター設備や管路等の維持管理 ◎農業集落排水処理施設への接続 (工事申請・完成検査等) ◎農業集落排水処理施設の維持管理委託契約・(設計書作成等) ◎農業集落排水処理施設使用料徴収事務 ◎農業集落排水事業会計決算統計 ◎農業集落排水処理施設に係る地方債起債 ◎消費税及び地方消費税申告納付 ◎苦情処理																																																	
開始経緯	平成7年野井倉地区、平成9年松山地区、平成10年通山地区、平成15年蓬原地区がそれぞれ供用開始している。																																																	
実施状況	浄化センター及び中継ポンプや管路等を適正に維持管理することで、し尿や生活雑排水等の汚水を浄化し、公共用水域の水質保全に努めた。																																																	
成果	<table border="1"> <tr> <td>主な経費</td> <td>(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)</td> <td>4,116,761円</td> <td>(2) 委託料 (維持管理業務を除く)</td> <td>12,723,946円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 電気代</td> <td>15,793,948円</td> <td>(4) 水道代</td> <td>978,510円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5) 通信運搬費 (電話代)</td> <td>979,582円</td> <td>(6) 工事請負費</td> <td>2,630,000円</td> </tr> </table>								主な経費	(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)	4,116,761円	(2) 委託料 (維持管理業務を除く)	12,723,946円		(3) 電気代	15,793,948円	(4) 水道代	978,510円		(5) 通信運搬費 (電話代)	979,582円	(6) 工事請負費	2,630,000円																											
主な経費	(1) 修繕費 (浄化センター機器設備等)	4,116,761円	(2) 委託料 (維持管理業務を除く)	12,723,946円																																														
	(3) 電気代	15,793,948円	(4) 水道代	978,510円																																														
	(5) 通信運搬費 (電話代)	979,582円	(6) 工事請負費	2,630,000円																																														
課題	最も古い野井倉地区が供用開始から24年経過しており、機器設備等の更新を計画的に行っていく必要がある。																																																	